

# 部活動での活躍

一瞬を大切にすることを心掛けるようになりました。また、ともに努力できるような仲間を持つことができたことも誇りに思います。ベスト4という結果は、チームメイト、監督、そして応援してくださったみなさまのおかげだと感謝するとともに、この経験をこれからの人生に活かしていきたいと思っています。



サッカー部

三年五組

藤倉

由風(川西中出身)

私は十月初めに行われた「希望郷いわて国体」に出場しました。国体出場は私の夢であり、あの岩手での経験は私の中で忘れられない思い出となりました。国体を通して、私は何に對しても一瞬

周囲の人の支えがあり、これまでフェンシングを続けてこられた。家族や仲間、先生方に感謝したい。大学でもフェンシングを続けるつもりだが、この悔しさをバネにし、より一層の努力をしていきたい。



フェンシング部

三年五組

高田

真帆(米沢三中出身)

山口県で開催されたインターハイに出場した。最後のインターハイということもあり、いつも以上に緊張した。結果は一回戦敗退で悔しいものとなった。入念に準備をしたつもりだったが努力が足りなかったかと受け止めている。

## インターハイに出場して

### 部活動の記録

#### 2016 希望郷いわて国体

- 団体 第4位 ホッケー少年女子県選抜 (13名中1名が本校生)

#### 置賜地区高等学校新人体育大会

- 団体
  - 〈第1位(優勝)〉 山岳男子:最優秀、卓球男子、フェンシング男子、バドミントン女子、フェンシング女子
  - 〈第2位〉 サッカー、剣道男子、バドミントン男子、ホッケー男子、バレーボール男子、卓球女子、ホッケー女子
  - 〈第3位〉 硬式野球、弓道女子、ソフトテニス女子
- 個人
  - 〈第1位(優勝)〉 フェンシング: 男子エペ・男子フルール、女子エペ・女子フルール
  - 卓球: 男子シングルス
  - 陸上: 女子4×100mR・4×400mR
  - 剣道: 女子、柔道: 男子66kg級
  - バドミントン: 男子ダブルス・女子ダブルス
  - フェンシング: 男子エペ・女子フルール・女子エペ
  - 陸上: 女子100m・100mH、卓球: 女子シングルス、ソフトテニス: 女子個人
  - バドミントン: 男子シングルス・女子シングルス
  - フェンシング: 男子エペ・女子フルール・女子エペ

#### 山形県高等学校新人大会

- 団体
  - 〈第1位(優勝)〉 ホッケー女子、フェンシング女子
  - 〈第2位〉 ホッケー男子
  - 〈第3位〉 フェンシング男子
- ☆個人
  - 〈第1位(優勝)〉 フェンシング: 女子フルール・女子エペ
  - 〈第2位〉 フェンシング: 男子エペ・女子エペ
  - 〈第3位〉 陸上: 女子100m、フェンシング: 女子フルール

- \*陸上競技: 女子100m・4×100mR・東北大会出場
- \*ホッケー: 女子・東北大会出場
- \*卓球: 男子シングルス・全国高等学校選抜大会出場

#### 文化・生産系部活動

- コースーパーサイエンスクラブ
  - 第4回WROJapan2016山形県大会 第3位
  - 東北大学飛翔型「科学者の卵」養成講座支援対象研究
  - 「透明骨格標本の作成技法の検討及び形態観察によるモツゴの骨格変異の研究」山形県高等学校総合文化祭科学専門部発表 科学専門部長賞(2題)
  - 「透明骨格標本の作成技法の検討及び形態観察によるモツゴの骨格変異の研究」[ドジョウ類における不凍タンパク質の探索]日本学生科学賞山形県審査 優秀賞(2題)
  - 「透明骨格標本の作成技法の検討及び形態観察によるモツゴの骨格変異の研究」[ドジョウ類における不凍タンパク質の探索]やまがた土産高校生スイーツコンテスト山形市長賞「さくらんぼ姫」～スコーン班～
- 調理科学
  - 第67回置賜地区高等学校美術展・特選1名、奨励賞5名
  - 第40回山形県高等学校総合文化祭及び第64回山形県高等学校美術展 努力賞1名
  - 全日本吹奏楽コンクール置賜地区予選会 優秀全日本吹奏楽コンクール山形県大会 銀賞
- 美術
  - 第40回山形県高等学校総合文化祭 参加
  - 山寺芭蕉記念館英語俳句大会 優良賞
  - 絵本翻訳コンクール 参加
  - 第45回置賜地区高等学校合唱祭 参加
  - 第6回科学の甲子園山形県大会 第1位(3連覇) 第2位・第3位・全国大会出場(3年連続)
- 吹奏楽研究クラブ
- 新聞・文芸
- ESS
- 音楽
- その他

Yonezawa Kojokan High School

第37号

平成28年12月22日発行

**山形県立**  
**米沢興譲館高等学校**

〒992-1443  
山形県米沢市大字笹野1101  
TEL 0238-38-4741  
FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

グローバルであるということとは人や物、そして情報が国という枠にとらわれず自由に行き来するということ、それは国内外のものが常に競争するという厳しい環境を意味します。これは、自分の可能性を見つけ高めたい人にとっては願ってもない時代です。そして、このグローバルな時代を生きるには四つことが大切です。

一つ目は「偶然を大切にすること」。二つ目は「人と人のネットワークを大切にすること」ですが、この二つはまとめて「縁」と言い表しても良いかと思えます。つまり、人や物との出会いを大切にすることです。経験したことや人ととのつながりが、自分の将来の飛躍のきっかけとなること少なからずあります。三つ目は「仲間と競争と協力をすること」です。実はこの二つは矛盾することではありません。私たちは競争を通じて自分を知ることができ、自分が比較のどういったことが得意かを知り、社会により貢献する方法を知ることが出来ます。これは一人一人の個性や多様性がないと成り立たないことでもあります。四つ目は「物事を簡単に理解しないこと」あるいは「常識を疑うこと」です。これは研究だけでなくビジネスにおいても例外ではありません。新しい解決策を生み出す際に非常に大切な姿勢となります。

興譲館には、昔からグローバルに活躍できる人材が育つ環境が整っていると思いますので、これからの興譲館生の活躍に期待したいと思います。

(星氏の講演より)

## 創立記念講演会

### 「グローバルな時代に生きるよらんじゅ」

星 岳雄氏

# SSH 米沢興譲館サイエンスフォーラムin山大



## サイエンスフォーラムを通して

三年一組 渡部 秀平 (米沢四中出身)

私はSSHでの課題研究について発表をしました。留学生や地域の方々に対して英語で発表を行い、英語で質疑応答を行いました。理数科に所属し、プレゼン力や英語でのコミュニケーション能力などを高めてきたおかげで、今回の発表は大変有意義なものになりました。グローバル化が進む社会の中で、視野を世界に向けたる事は大切な事だと思います。今回の経験を生かし、さらに大きなステージで今後活躍していきたいと思えます。

# SSH オープンスクール・サマースクール

**SSHサマースクール・  
オープンスクールに参加して**  
二年一組 相田ゆかり (高畠四中出身)

今年度のオープンスクール・サマースクールでは理数科の生徒が中学生を案内しました。学校生活、SSHでの取り組みを中学生に知ってもらえたと思います。午後は中学生と一緒に実験をしました。物理・化学・地学・生物・家庭科に分かれてそれぞれ実験をしました。中学生が反応して楽しく実験をしていました。実験の楽しさや科学の面白さを知ってもらえたと思います。



# SSH 東京サイエンスツアー

## 東京サイエンスツアーで学んだこと

一年一組 須貝 麻央 (赤湯中出身)

私がTSTを通して特に興味深かったのはDNA分析についてです。最近では、古人骨に含まれるDNAを分析することで集団の系統関係や個体識別などを高い精度で行うことが可能になっています。紹介された実験ではキリシタン屋敷に埋葬されていた人骨からDNAを抽出し、簡単な検査でミトコンドリアDNAのタイプであるハプログループを特定し、その後より詳細な出自を明らかにするために、次世代シーケンサを使った核ゲノム解析を行っていました。その結果、この人骨はイタリア人が持つゲノムによく似ていることが分かり、キリシタン屋敷に埋葬された唯一のイタリア人で「江戸時代最後の宣教師」と呼ばれたシドッチ神父のものであると特定されていました。

今回のTSTの目的は、最先端の技術に触れ科学への興味を深める事でした。この体験を通して、DNAへの興味が高まったことで目的は達成でき有意義な活動になりました。



# SSH 関西方面サイエンスツアー

## 関西方面サイエンス研修に参加して

二年一組 高山 大喜 (南原中出身)

研究発表会で参加者の真剣な目つきと本気で取り組む様子を見た。そして、僕のグループは、これから研究するテーマとして考えていたものから、水中発電というより高度なテーマに変更することにした。発表会を通して得た発想を活かし時間を有効に使って、研究を進めていきたい。

また、スプリングエイトやスーパーコンピューター「京」など最先端の技術を見学させて頂き、常に向へ進み続けようとする研究者の熱い思いを感じた。どちらにも柔軟な発想と強い探求心の集大成といふべきものだった。

今回の研修を通じて良い研究ができるように努力していきたいと決意を新たにすることができた。



# SSH 講演会

## SSH講演会を拝聴して

一年二組 白石 茜莉 (高島二中出身)

私は城戸先生の講演を聴くのが初めてで、大変興味深く聴かせていただきました。この講演では有機ELのことについてだけでなく、成功するための秘訣なども教えていただきました。城戸先生は、好奇心・創造力・やる気・独創性が大切だとおっしゃっていました。本当にその通りだと感じました。私は今までやる気になって何かをしたことがあまりないので、これからは、何か物事を進めるにあたって、しっかりとやる気になって進めてみようと思います。

# 関西キャリア研修

## 関西キャリア研修で学んだこと

二年二組 川上 悠真 (米沢二中出身)

私達一学年普通科はキャリア研修で多くのことを学んできました。私は企業研修を京セラ株式会社でさせていただきました。絶縁体や熱伝導率の高い物質など材料工学の内容から、黒字経営を継続してきた秘訣など経営に関する内容まで幅広く教えていただきました。私は将来医学に携わる職に就きたいと思っています。工学は工学でも分野の違う工学ではありますが、技術の先端を常に起こうとするその挑戦する姿勢に感銘を受けました。また、企業研修や京都大学訪問だけではなく、奈良の東大寺や京都の清水寺など日本の歴史のルーツを体感することができ、非常に有意義な研修となりました。



# 興讓祭

## HEROES

～600人総活躍祭～

### 興讓祭を通して

三年二組 佐藤 遼也 (米沢三中出身)

私は、去年の興讓祭をこえた一心で一年間務めました。特に興讓祭一週間前は忙しく、本番もずっと気が抜けませんでした。しかし、皆さんの笑顔を見ることができたとき、頑張ってきて良かったと思いました。今年の興讓祭テーマ「HEROES～600人総活躍祭～」通り、600人全員が個性を発揮し、それぞれが主役になれたと思います。皆さんの支えがあったからこそ頑張れました。本当にありがとうございました。



### 高鍋高校 交流会を通して

二年五組 榎本 萌衣  
(米沢一中出身)

交流会が始まる前、私たちは会の開始を心待ちにするとともに、重責を感じて非常に緊張していました。しかし、会が進むにつれ、三日間行動を共にした執行部、そして部活動、クラスとの交流で出会った方々との仲が深まるのを強く実感しました。また、互いの学校や地域について情報を交換し理解を深め合うことができ、自治会としての活動を見つめなおす良い機会になりました。

今回、交流事業に携わらせていただいたことを本当に嬉しく思います。鷹山公の時代からの縁を今後も大切にしていきたいです。

### 南原文化祭に参加して

調理科学部  
二年二組 本田 愛莉 (高島二中出身)

昨年引き続き「興讓庵」には沢山の方々に足を運んでいただきました。当日の朝から私達が作った「利休饅頭」と、お茶の拠点前で地域の方々をおもてなしました。部員全員が、お茶の先生方にご指導いただき、茶道について楽しく学んでいます。日本の伝統文化を通じて地域の方々と触れ合うことで、私達の活動についてより多くの方々に知っていただけたのではと思います。



### ❖ 三学期の行事予定 ❖

- 1月6日 始業式
- 1月13日 センター試験激励会
- 1月14日 センター試験(～15日)
- 1月17日 予餞会
- 2月15日 SSH台湾研修(～18日)
- 2月24日 学年末考査(～3月1日)
- 3月2日 卒業式
- 3月10日 一般入学者選抜
- 3月16日 1・2年合格体験を聴く会
- 3月23日 修了式